

# あい・パワーファンド

## <愛称：iパワー>

追加型投信／内外／その他資産（通貨）

### 第2期 交付運用報告書

（決算日2020年5月18日）

作成対象期間（2019年11月19日～2020年5月18日）

第2期末(2020年5月18日)	
基準価額	10,350円
純資産総額	4,104百万円
第2期	
騰落率	2.2%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものと計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。

#### 受益者のみなさまへ

毎々格別のお引き立てに預かり、厚く御礼申し上げます。

さて、今般「あい・パワーファンド<愛称：iパワー>」は、去る2020年5月18日に第2期の決算を行いました。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として先進国通貨の外国為替証拠金取引に実質的に投資を行うことにより、安定的な収益の確保および信託財産の中長期的な成長を目指します。

当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに謹んで第2期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも、お引き立てのほど宜しくお願い申し上げます。

当ファンドは、約款において運用報告書（全体版）を電子交付することが定められております。運用報告書（全体版）は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望される場合は、販売会社までお問い合わせください。

#### 【閲覧方法】

右記URLにアクセス⇒ファンド情報⇒当該ファンド⇒運用報告書（全体版）を選択

#### あいグローバル・アセット・マネジメント株式会社

東京都港区六本木一丁目6番1号

（お問い合わせ先）

お客様デスク Tel:03-6230-9011

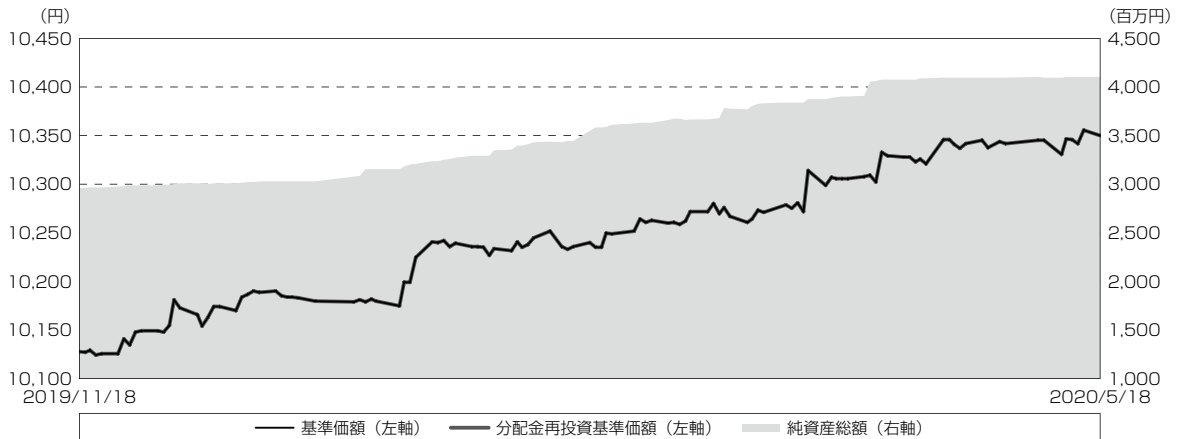
（営業日の9:00～17:00）

www.igam.co.jp/

## 運用経過

## 当期中の基準価額等の推移

(2019年11月19日～2020年5月18日)



第2期首：10,128円

第2期末：10,350円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：2.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 当ファンドには、その運用手法の特徴から、運用成果の比較対象となる適切な指標がないため、ベンチマーク等はありません。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は上昇しました。

## (プラス要因)

- ・主要投資対象ファンドである「Spectra SPC - Powerfund JP Segregated Portfolio」の基準価額が上昇したこと

## 1万口当たりの費用明細

(2019年11月19日～2020年5月18日)

項 目	第2期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	174	1.698	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	( 84)	( 0.82)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	( 28)	(0.273)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	( 3)	(0.029)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(実績報酬)	( 59)	(0.576)	投信会社が受領するハイ・ウォーター・マーク方式による成功 報酬額(資金の運用の対価)
(b) その他費用	11	0.108	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	( -)	( -)	海外における保管銀行等に支払う有価証券の保管および資金の 送金・資産の移転等に係る費用
(監査費用)	( 1)	( 0.01)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用)	( -)	( -)	目論見書・運用報告書作成、印刷および交付に係る費用
(その他)	( 10)	(0.098)	計理業務費用、届出書類作成等費用、公告費用、法律顧問および 税務顧問費用、その他費用・手数料等
合 計	185	1.806	
期中の平均基準価額は、10,246円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 「その他費用」には、信託財産に関する租税、信託事務の処理に係る諸費用(受益証券等の管理事務、印刷費用、公告費用、監査費用、法律顧問・税務顧問への報酬費用等)、それらに付随する消費税等相当額などを含みます。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く)が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示しております。

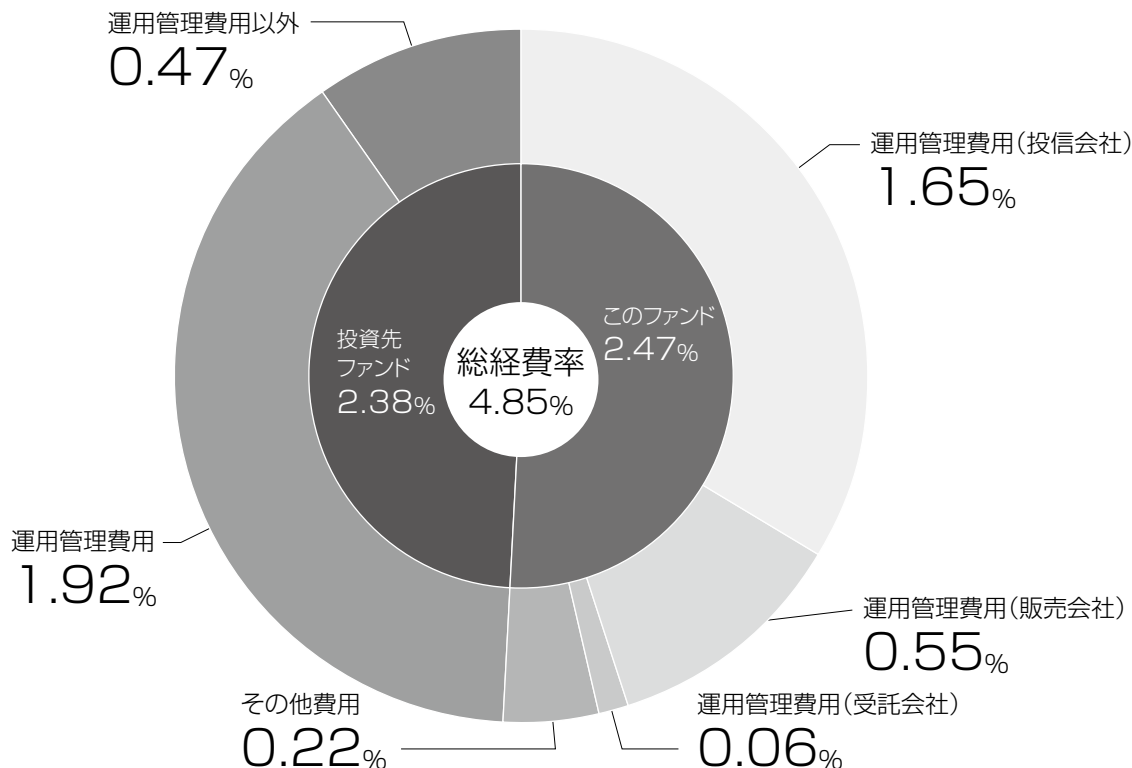
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) (-) は該当がないことを示します。

## (参考情報)

## ・ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は4.85%です。



総経費率(①+②+③)	4.85%
①このファンドの費用の比率	2.47%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.92%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.47%

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2015年5月17日～2020年5月18日)



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 当ファンドの設定日は2019年4月23日です。

	2019年4月23日 設定日	2020年5月18日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,350
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	3.5
純資産総額 (百万円)	842	4,104

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。

(注) 騰落率は設定日との比較です。

ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注) 当ファンドには、その運用方法の特徴から、運用成果の比較対象となる適切な指標がないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「—」は該当がないことを示します。

**投資環境**

(2019年11月19日～2020年5月18日)

(当ファンドは市場全体の方向性に左右されにくい運用をおこなっていますが、参考として先進国為替市場の動向について記載します)

1ドル=108円台後半でスタートした米ドル/円市場は、アジアや欧州が新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済下押し圧力に晒される中で米国の相対的な優位性が意識されたこと等から2月下旬には1ドル=112円前半までドル高が進行しました。その後は、コロナの感染拡大によるニューヨーク州の非常事態宣言発令や原油価格の大幅安等から3月上旬に1ドル=101円台前半まで円高が進行したものの、コロナショックによるリスク資産の価格下落等から、ドルに対する旺盛な資金需要の高まりを背景にドル買い基調となりました。期末は1ドル=107円台半ばで終わりました。

1ユーロ=1.10ドル台後半でスタートしたユーロ/米ドル市場は、米国で良好な経済指標が相次ぎ、ユーロ安が続いていましたが、米FRB(連邦準備制度理事会)の緊急利下げにより米長期金利が大幅に低下したこと等から、3月上旬に1ユーロ=1.14ドル台後半までユーロ高が進行しました。その後は、トランプ米大統領が欧州から米国への渡航制限を発表したことに加え、新型コロナウイルスの感染拡大が欧州主要国で深刻化したこと等から3月下旬には1ユーロ=1.06ドル台前半までユーロが売られました。期末は、1ユーロ=1.09ドル台前半で終わりました。

1ポンド=1.29ドル台半ばでスタートした英ポンド/米ドル市場は、1ポンド=1.3ドルを中心に概ね小動きで推移していましたが、3月に入ると、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景としたリスク資産市場の大幅な下落などから、投資家や企業による流動性の高いドル買いの動きとなり、英国中銀が緊急利下げを行った3月下旬には1ポンド=1.14ドル台前半までポンドが売られる展開となりました。その後は、コロナウイルスの感染が米国で大きく広がるとドル売りが優勢となりポンドは反騰しました。期末は1ポンド=1.21ドル台後半で終わりました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2019年11月19日～2020年5月18日)

**○当ファンド**

当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。「Spectra SPC - Powerfund JP Segregated Portfolio」を主要投資対象とし、同ファンドの高位組入れを維持して運用を行いました。作成期末時点での当ファンドにおける「Spectra SPC - Powerfund JP Segregated Portfolio」の組入比率は98.6%、「ユナイテッド日本債券ベビーファンド(適格機関投資家向け)」の組入比率は1.0%となりました。

**○「Spectra SPC - Powerfund JP Segregated Portfolio」<sup>(注)</sup>**

運用会社グループが独自に開発したシステムティック取引モデルに基づき、先進国通貨(円、米ドル、ユーロ、英ポンドなど)の外国為替証拠金取引に投資する運用を行いました。

(注) STI JP Limitedが運用を行います。

○ユナイテッド日本債券ベビーファンド（適格機関投資家向け）<sup>(注)</sup>

- ・作成期間を通してマザーファンド受益証券を高位に組み入れました。
- ・マザーファンドの債券組入比率は、設定・解約時を除いて高位で推移させました。
- ・マザーファンドでは公社債を中心に作成期間中5銘柄程度でポートフォリオを構築しました。

(注) ユナイテッド日本債券マザーファンドを主要投資対象としています。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年11月19日～2020年5月18日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。運用手法の特徴から、運用成果の比較対象となる適切な指標がないため、ベンチマーク等はございません。

## 分配金

(2019年11月19日～2020年5月18日)

第2期の分配金につきましては、基準価額水準等を勘案し、見送らせていただきました。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

## ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第2期
	2019年11月19日～ 2020年5月18日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	349

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 「—」は該当がないことを示します。

## 今後の運用方針

当ファンドは、引続き、「Spectra SPC - Powerfund JP Segregated Portfolio」の高位組入れを維持しながら、安定した収益の確保および信託財産の中長期的な成長を目指します。

## お知らせ

## 約款変更について

2019年11月19日から2020年5月18日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

## 運用体制の変更について

2019年11月19日から2020年5月18日までの期間に実施いたしました運用体制の変更はございません。

## 当ファンドの概要

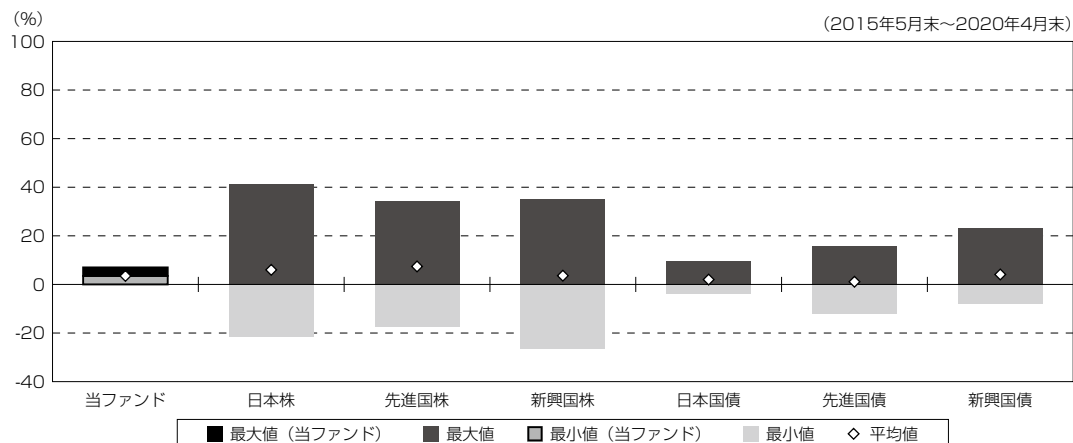
商品分類	追加型投信／内外／その他資産（通貨）	
信託期間	2019年4月23日から2029年5月17日まで	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として先進国通貨の外国為替証拠金取引に実質的に投資を行うことにより、安定的な収益の確保および信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要運用対象	下記の投資信託証券を投資対象とします。	
	Spectra SPC - Powerfund JP Segregated Portfolio	STI JP Limitedが運用するケイマン籍外国投資信託証券（円建）
組入投資信託証券の運用方法	ユナイテッド日本債券 ベビーファンド (適格機関投資家向け)	あいグローバル・アセット・マネジメント株式会社が運用する追加型証券投資信託
	Spectra SPC - Powerfund JP Segregated Portfolio	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進国通貨の外国為替証拠金取引に主に投資します。</li> <li>・運用に当たっては、スポット裁定取引戦略を用います。</li> <li>・独自の取引モデルに基づき、自動取引を行います。</li> </ul>
分配方針	ユナイテッド日本債券 ベビーファンド (適格機関投資家向け)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユナイテッド日本債券マザーファンドを通じて、実質的にわが国の公社債に投資を行います。</li> <li>・マザーファンドはNOMURA-BPI総合を上回る運用成果を目指します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年5月および11月の各17日（休業日の場合は翌営業日）の決算時に分配を行います。</li> <li>・分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</li> <li>・分配金額は、委託者が基準価額水準・市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配を行わないこともあります。</li> <li>・収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づき運用を行います。</li> </ul>	

当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。ファンド・オブ・ファンズ形式とは、ファンドの信託財産を主に他のファンドに投資する仕組みで、一般社団法人投資信託協会の定める商品分類において、「主として投資信託証券に投資するもの」をいいます。



## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	3.5	41.2	34.5	35.0	9.5	15.7	23.2
最小値	3.5	△21.7	△17.6	△26.4	△4.1	△12.3	△8.0
平均値	3.5	6.0	7.4	3.6	2.0	1.1	4.1

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2015年5月末から2020年4月末の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

(注) 上記の騰落率は直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：Morningstar 日本株式

先進国株：Morningstar 先進国株式 (除く日本)

新興国株：Morningstar 新興国株式

日本国債：Morningstar 日本国債

先進国債：Morningstar グローバル国債 (除く日本)

新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て利子・配当込みのグロス・リターン指数です。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2020年5月18日現在)

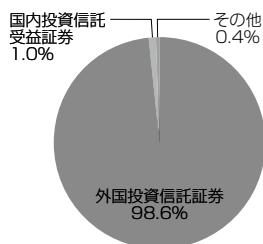
## ○組入ファンド

ファンド名	第2期末 %
Spectra SPC - Powerfund JP Segregated Portfolio	98.6
ユナイテッド日本債券ベビーファンド (適格機関投資家向け)	1.0
その他	0.4
組入ファンド数	2ファンド

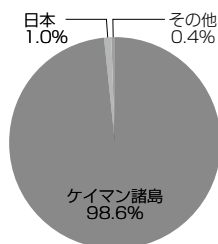
(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入比率に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

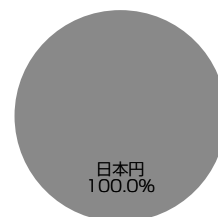
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 各数値を四捨五入しているため、合計値が100%にならないことがあります。

(注) その他は預金、現金(コール・ローン含む)、その他資産(負債控除後)等です。

## 純資産等

項目	第2期末
	2020年5月18日
純資産総額	4,104,719,049円
受益権総口数	3,966,018,525口
1万口当たり基準価額	10,350円

\*当期中における追加設定元本額は1,091,442,843円、同解約元本額は48,027,752円です。

## 組入ファンドの概要

## Spectra SPC - Powerfund JP Segregated Portfolio

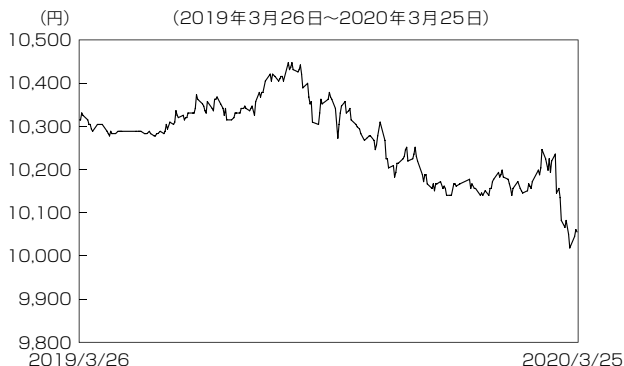
※現時点で入手し得る直近の決算データが存在しないため、当ファンドの資産の状況は掲載しておりません。

## ◆投資対象とする投資信託証券の概要

ファンド名	Spectra SPC - Powerfund JP Segregated Portfolio
ファンド形態	外国投資信託証券（ケイマン籍、円建、会社型）
主要投資対象	外国為替証拠金取引
運用の基本方針	①先進国通貨の外国為替証拠金取引に主に投資します。 ②運用に当たっては、スポット裁定取引戦略を用います。 ③独自の取引モデルに基づき、自動取引を行います。
投資方針・特色	①原則として、対円での為替ヘッジを行いません。 ②円資産で差入れられる証拠金については、外貨の対円為替変動の影響を受けません。 ③市場動向、資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
管理報酬等	管理報酬の総額は、信託財産の純資産総額に年率2.00%の率を乗じて得た額とします。 その他、信託事務の処理に関する諸費用、信託財産に関する租税、および信託財産の監査に要する費用などがかかります。
実績報酬	ありません。
事務管理 代行会社	Maples Fund Services (Cayman) Limited ※ Maples Fund Services (Asia) Limited に業務を委託しています。
運用会社	STI JP Limited

ユニテッド日本債券ベビーファンド（適格機関投資家向け）

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2019年3月26日～2020年3月25日)

項 目	当 期
	金 額
信 託 報 酬	22
( 投 信 会 社 )	( 11 )
( 販 売 会 社 )	( 2 )
( 受 託 会 社 )	( 9 )
そ の 他 費 用	153
( 保 管 費 用 )	( - )
( 監 査 費 用 )	( 67 )
( 印 刷 費 用 )	( - )
( そ の 他 )	( 86 )
合 計	175

期中の平均基準価額は、10,290円です。

(注) 項目等詳細につきましては運用報告書（全体版）に記載しております。

【組入上位 10 銘柄】

(2020年3月25日現在)

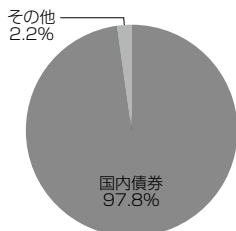
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率 %
1	第319回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	14.4
2	第87回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	16.1
3	第127回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	33.7
4	第130回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	16.8
5	第145回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	16.9
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-
	組入銘柄数		5銘柄		

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

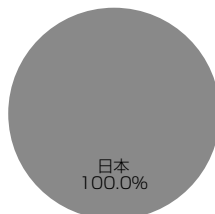
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

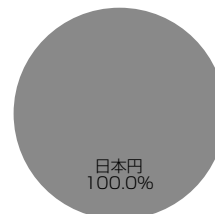
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 組入上位 10 銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは、「ユニテッド日本債券マザーファンド」の決算日（2020年3月25日）現在のものです。当該ファンドが投資対象とするマザーファンドの内容を記載しています。（比率は純資産総額に対する評価額の割合）

(注) その他は預金、現金（コール・ローン含む）、その他資産（負債控除後）等です。

### <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとにあいグローバル・アセット・マネジメント株式会社が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

日本株：Morningstar 日本株式は、Morningstar, Inc.が発表している配当込み株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。

先進国株：Morningstar 先進国株式（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している配当込み株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。

新興国株：Morningstar 新興国株式は、Morningstar, Inc.が発表している配当込み株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。

日本国債：Morningstar 日本国債は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。

先進国債：Morningstar グローバル国債（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

### <重要事項>

当ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に当ファンドに投資することの当否、または当ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、当ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。当ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は当ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は当ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、当ファンドの基準価額及び設定金額あるいは当ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または当ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、当ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、当ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。